

独 標

西東京市立ひばりが丘中学校

第1学年

第25号

令和5年10月16日発行

校外学習の思い出。今回はC組の作文の紹介です。

〈敬称略〉

川越校外学習で学んだこと

私は今回の校外学習で協力することの難しさを学びました。なぜなら、協力は班の全員が助け合うことで成り立つと考えるからです。

私は川越校外学習の実行委員として、さらに班長としての責任感を感じていました。そのため、校外学習が無事成功するかという不安と緊張に押しつぶされそうな気持ちで当日を迎えました。予想通り班員同士での考え方のすれ違いによってぎくしゃくしてしまうこともありました。その中の一つとして電車内での出来事が心に残っています。班員の一人が電車の先頭の方なら乗り換えが楽だと言いました。しかし、ほかの班員は電車内で移動するのは迷惑だという意図で移動しなくて良いと言いました。そのため、私はどちらも班の人のことや周りの人のことを思いやって言っているのが伝わり、どうすればよいのかわからなくなってしまいました。実際に川越を通してそれぞれの個性がある中で協力するのはとても難しいことだと深く学びました。でも、すれ違いもありつつ最終的には無事に予定通り校外学習を終えられたのでよかったなと思います。

このようなことから助け合いをするには意思疎通をし、互いの違いを理解しあうことが大切だと考えました。そして、個人として責任を果たす重要性、大変さも身をもって体験しました。私は川越で「みんな違ってみんないい」の本当の意味を見つけられた気がしました。





校外学習で学んだこと

今回の川越校外学習で、学んだことは3つあります。

まずは計画することです。小学校では、全て先生が決めていたのですが、中学校では班がどこに行きたいなど、自分たちで決めて川越に行ったので、計画する力がついたと思います。しかも、僕は普段、自分で消え画することがあまりないので、よりその力が付いたと思います。

次に協力することです。最初にも言ったように、中学校では自分たちで決めるので、協力が必要だと思います。そんな中、僕たちの班は協力できるか心配でしたがちゃんと協力できました。

最後に思いやりです。例えば、相手の歩幅に合わせることに気を付けて、自己中心的にならず、相手を思いやることで班全体がにぎやかで、楽しくなります。そうしているうちに、自然と相手を思いやることができ、少し前までは、意識しないとできなかったことが、今では意識していなくてもできるようになりました。



川越校外学習では、これらのことを学びました。特に、思いやりに関しては、他のことよりも深く学べたと思います。この川越校外学習で学んだことを活かし、これからの学校生活を楽しみ、尚且つ、学んだことをさらに深く学び、新しいことも学んでいきたいです。そして、いつか川越にもう一度行きたいです。

校外学習を通じて、川越について学びを深めただけでなく、「班で協力すること」「自分たちで責任をもって行動すること」を学ぶことができましたね。ねったいぎょとして頂点を目指しましょう。

渡邊 功